

西成レトロまちめぐり ―西成区の南東部を訪ねて―

中塚 義隆

【目的】

西成区域の路地をはじめ、観光の対象となりうるレトロな風景、案内したい風景を探し出し、観光の可能性を見出すこと、西成区域にも景観がよく、情緒のあるところをアピールすること、また、まちめぐりのコースを作ることを目的とする。

【内容】

今回の調査は、南は住之江区との境界である南港通りから、北は南海本線天下茶屋駅の北側の通りまで、東は聖天山公園から帝塚山までの上町台地の西端、西は、阪神高速道路堺線（十三間堀川跡）沿いまでの区域を対象としている。

まちめぐりについては地域的なつながり、地理的な側面、案内のしやすさといった面を考慮し、玉出、千本、天神ノ森・天下茶屋南部の三つの地域に分け、地域ごとに目について風景の内容を整理し、これをもとにまちめぐりのコースを作成した。



―今回の調査対象区域―

【結果】

1 提案コース

- ①蔵のあるまち・玉出 玉出全体で11の蔵が見られ、蔵を経由してまちをめぐる。
- ②路地と長屋のまち・千本 路地が多く、戦前の長屋も残り、レトロ感のある長屋を中心にまちをめぐる。
- ③景観と歴史のまち・天神ノ森から天下茶屋 景観に優れ、落ち着いた佇まいが見られ、建物にも魅力がある。寺社には歴史が感じられ、のどかな阪堺線を組み合わせてまちをめぐる。

2 今後の考察

昨年度は研究員として「だいがくと凧のまち勝間千軒」と題し、勝間村の歴史と文化を調べ、勝間凧の復活に取り組むとともに、「大阪あそ歩」でガイドを始めることとなった。今回の調査では地域をくまなく歩き、「こんなところがある、こんなものがある」と様々な風景を発見する喜びを感じた。このことは地域を案内する際の対象の拡充につながり、訪れる方々にまちめぐりを楽しんでいただけるようにしていきたい。

1 観光の素材

路地はその両側に家が建ち並び、子どもの格好の遊び場で、住む人の間につながりが感じられる空間である。植木鉢、お地蔵さん、駄菓子屋などがあつたりして、懐かしさ、温もりが感じられ、心が落ち着き和むような雰囲気の中で、大阪のみならず、日本の良さを伝えるところである。

このような情緒のある路地巡りに観光の可能性を見出すべく対象となる路地を探してみたところ、風情を感じさせる路地やお地蔵さん、井戸のポンプなど往時の生活を思い起こさせるものも見られ、これらとともに古い建物や希少になってきていると感じさせるものなどにも観光の可能性を見出すこととし、目についたレトロな風景を観光の素材として選び、まちめぐりコースを設定をすることとした。

2 調査の状況

(1) 路地

調査した路地の数は61か所、町名別の内訳は表1のとおりである。

なお、実際に調査の対象とした路地は、主として住む人の用に供する幅員4mに満たない細街路で、通り抜け、車の進入が可能なものを含んでいる。

(表1 調査対象路地 町名別内訳)

玉出	13	岸里・岸里東	1	天神ノ森	7
千本	30	潮路	5	天下茶屋南部・聖天下南部	5

(2) 路地以外

路地以外で目についたものとしては、蔵、檜皮壁や銅壁、タイル壁、板塀など建物に関連するもので、これらにレトロさを感じた。路地以外で目に付いた箇所は143か所、内、戦前の建物93か所、蔵21か所(戦前の建物と重複6か所)、その他35か所で、町名別にみると表2のとおりである。

(表2 路地以外の対象風景 町名別内訳)

玉出	47	岸里・岸里東	8	天神ノ森	19
千本	47	潮路	3	天下茶屋南部・聖天下南部	19

3 選択した風景

目についた風景204か所からまちぐりの対象となる風景128か所を選び、これを地域的なつながり、地理的な面、案内ルート構成といった面を考慮し、玉出、千本、天神ノ森・天下茶屋南部の三つのエリアに分けてまちをめぐらる。千本には潮路・岸里を含み、天神ノ森・天下茶屋南部には岸里東・聖天下南部を含む。

三つのエリアごとにその内容を整理すると後出の表3のようになった。

4 まちめぐりのコース

表3から浮かぶまちの特性を考慮し、まちぐりの名称とコースを作成する。

①玉出

玉出東は上町台地の西端に接し、崖の上下の対比も見もので崖下の長屋や有名な坂もある。玉出東、玉出中は明治40年の南海本線玉出駅設置以後、住宅開発が行われた区域で、戦災を免れ、蔵なども残り、玉出中は勝間街道が通り、付近に風情を感じる建物や長屋が見られる。玉出西は勝間村の環濠集落があったところであるが、戦災に遭い、古くからの住宅が焼失し、区画整理が行われ、十三間堀川も埋め立てられたが、赤壁の建物や川端の長屋に往時の面影を留める。

蔵の数が11と他の素材に比べて多いことから、まちぐりのコースの名称を「蔵のあるまち玉出」とする。コースの概要は次のとおり。

阪堺線塚西駅→<玉出東>50軒長屋→久保田の坂→虫籠窓の建物→<玉出東・中>蔵→路地と長屋→<玉出西>赤壁の建物→十三間堀川の川端長屋→地下鉄玉出駅



②千本（潮路・岸里を含む）

このエリアは戦前の長屋も多く残り、落ち着いた雰囲気を感じさせる所も見られる。これらの長屋は南津守方面に工場が立地し、工場へ通う勤労者の住宅として開発されたと聞く。潮路ではズレのある路地が見られ、千本北は路地に1階建ての長屋が多く、また、お地藏さんや井戸ポンプなど懐かしい風景が往時の生活をしのばせる。千本南には2階建ての長屋も見られ、岸里とともに天龍大神の祠もあり、喜劇俳優曾我の家五郎の名前が書かれた玉垣もあって興味を引く。千本は戦災を免れた地域で、区画整理も行われていないことがレトロ感をかもしだす。

選択した路地の風景が17か所、路地に関連する風景が14か所あることから、コースの名称を「**路地と長屋のまち千本**」とする。コースの概要は次のとおり。

地下鉄岸里駅→<潮路>ズレのある路地→<千本北>1階建て長屋→懐かしい路地の風景→<千本南>2階建て長屋→<千本南・岸里>天龍大神の祠→地下鉄岸里駅



③天神ノ森・天下茶屋南部（岸里東・聖天下南部を含む）

この地域は景観に優れ、静かな佇まいの落ち着いた雰囲気を感じさせる所が見られる。地域内には珍しい銅壁の建物が見られ、洋風な建物や檜皮壁の建物も見られる。また、紀州街道が南北に通り、天下茶屋や天神ノ森天満宮、聖天山正圓寺など歴史が感じられる地域でもある。阪堺線がこの地域の雰囲気とあいまって市内とは思えないローカルな風景を見せてくれる。

優れた景観と歴史が感じられる神社等もあることから、コースの名称を「**景観と歴史のまち天神ノ森から天下茶屋**」とする。コースの概要は次のとおり。



阪堺線天神ノ森駅→<天神ノ森>建物の風景→<岸里東・天神ノ森>阪堺線の風景→天神ノ森天満宮→銅壁・檜皮壁の建物→<聖天下>聖天山正圓寺→<天下茶屋南部>銅壁・檜皮壁の建物→北天下茶屋商店街→阪堺線北天下茶屋駅

5 今後の課題

玉出では11の蔵を発見したことは驚きであった。千本では1階建ての長屋が多くみられ、風情を感じた。天神ノ森・天下茶屋南部では静かな佇まいや銅壁の建物を見つけたこと、阪堺線の風景に安らぎを覚えたことが印象に残る。

一方で長屋等は老朽化し、こうした風景は損われ、また、祠のいわれなどについて聞き取ることができなかつたように、「近い過去」のことも伝わっていないことを痛感した。今後、目についた風景について聞き取りなどの調査を続け、「近い過去」を伝える努力をし、まちめぐりを通じて愛すべき風景を紹介していきたい。

(表3 選択した風景 エリア別内訳)

	玉出	千本	天神ノ森・天下茶屋南部		玉出	千本	天神ノ森・天下茶屋南部
路地の風景				路地に関連する風景			
長屋	7	14	1	お地藏さん		5	2
ズレのある路地		3		井戸ポンプ	2	3	
小計	7	17	1	祠	1	2	2
建物に関連する風景(路地以外)				その他風景			
景観		2	4	縁台		1	
長屋	2	1	1	雨戸		1	
蔵	11	2	8*	ガラス戸		1	
洋風建築			3	石畳	1	1	
銅壁			3*	小計	4	14	4
檜皮壁	1		5	その他風景			
赤壁	1*			阪堺線			4
タイル壁	2	2		崖と坂	1		2
レンガ壁	1			碑	1		
塗籠軒	1			寺社	1		3
虫籠窓	2*			道	1		3
板塀		3	2	お地藏さん	2	1	
(*重複)				商店街			2
小計	20	10	25	南海汐見橋線		3	
全体合計	37	47	44	風呂		1	
				公衆電話		1	
				小計	6	6	14

(参考文献)『まち路地再生のデザイン』宇杉和夫他(2010)、『路地からのまちづくり』西村幸夫(2006)、『路地研究』上田篤他(2013)、『大阪 新・長屋暮らしのすすめ』橋爪紳也編(2004)、『まちに住まう・大阪都市住宅史』大阪市都市住宅史編集委員会編(1989)